

CI-NET導入事例

(地域総合建設企業 関東)

一般財団法人 建設業振興基金
情報化評議会

平成26年3月

本事例の特徴

- **コンプライアンス**を重視した、見積・契約業務の決裁フロー実施ルールの明確化
- システムベンダへの委託契約により、日常業務に負担をかけず、3ヶ月という短期間で導入
- 協力会社での導入促進は、第1期に協力会会員、第2期に主要取引先と2段階で説明会を開催することで、社内担当部門への負担をかけずにスムーズに導入
- 発注者／受注者の両者の立場での導入、運用を実施
- 地域ゼネコンのパイオニアとしてCI-NETを先行的に導入

1. 2. 企業プロフィール

■企業の規模

- ◆資本金 : 1億円
- ◆従業員数 : 84名 (建設部門)
- ◆完成工事高 : 75億円 (2013年7月決算)
- ◆神奈川県 of 総合建設業

■業務の規模

- ◆取引先数: 450社
- ◆注文書件数: 約100件/月

■業務フロー

- ◆購買方式: 集中購買

3. CI-NETの導入対象業務

■対象範囲(分野、地域、区分)

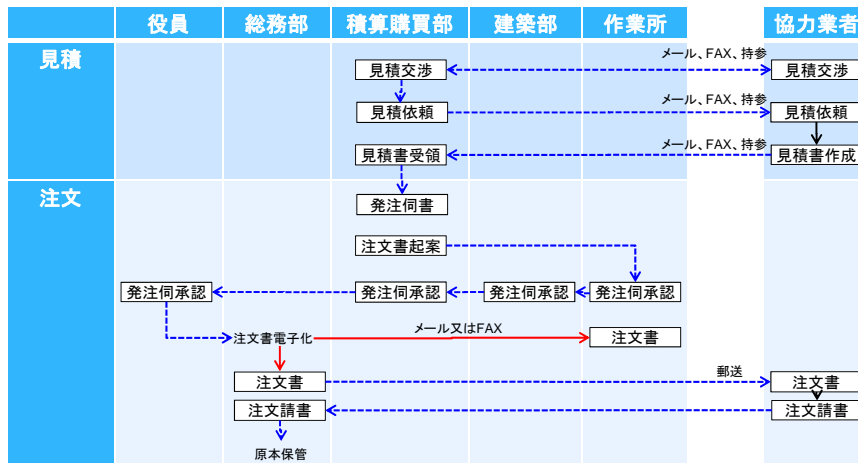
分野	対象範囲		
	建設	土木	リフォーム
地域	本店(神奈川県)	営業所(東京)	
業種	労務	資材	外注
受発注の立場	発注者	受注者	

■対象範囲(業務)

業務名	受注者として	発注者として
下見積(依頼/回答)	×:未実施	×:未実施
購買見積(依頼/回答)	○:実施	○:実施
注文(注文/注文請け)	○:実施	○:実施
出来高(確認/承認)	○:実施	△:今後検討
請求(請求/確認)	○:実施	△:今後検討
立替金	○:実施	△:今後検討

4. 業務プロセス(導入前)

→ : 電子の流れ
 - - - : 紙の流れ

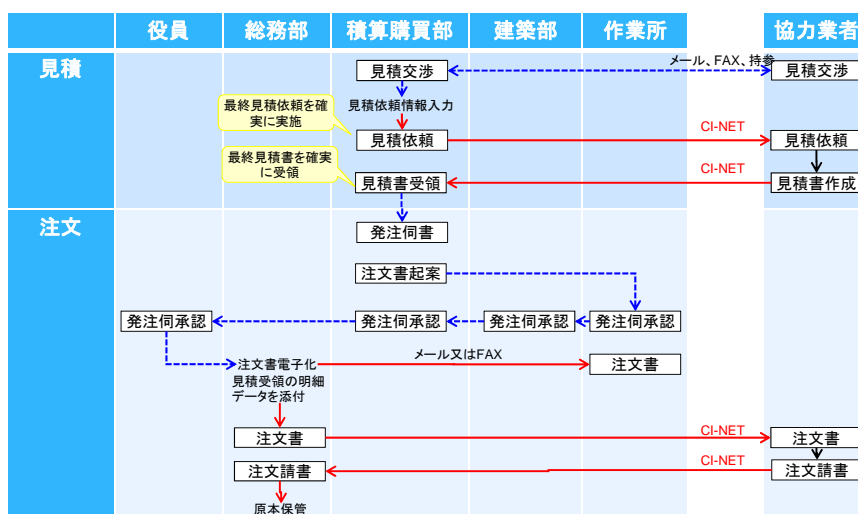


Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

4

4. 業務プロセス(導入後)

→ : 電子の流れ
 - - - : 紙の流れ



Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

5

5. システム概要

■EDIシステム(CI-NET)

- ◆委託契約先:シーイーエヌソリューションズ株式会社
- ◆構成パターン : ASP活用タイプⅡ
- ◆利用サービス、ソフトウェア : LitesNEO(日本電気株式会社)
- ◆協力会社推奨ソフトウェア:LitesNavi(シーイーエヌソリューションズ株式会社)

■社内システム

- ◆数量積算 : 市販ソフトウェア
- ◆実行予算 : 自社開発
- ◆原価管理 : 自社開発
- ◆注文・購買 : 自社開発
- ◆工事管理 : 自社開発
- ◆経理、発注 : 市販ソフトウェア

■社内システムとEDIシステム(CI-NET)の連携

- ◆社内システムとCI-NETのデータ連携は実施していない。
- ◆CI-NET(LitesNEO)を発注システムと位置付け

受注者がCI-NET導入済みの場合	CI-NETで最終見積書を受領後、注文書を発行。
受注者がCI-NET未導入の場合	最終見積を書面(メール)で受領後、注文書、注文請書をLitesNEOで印刷して郵送。

6. 導入・拡大検討の動機、きっかけ、導入に至った経緯等

■導入検討のきっかけ

- ◆既存パッケージの発注機能に汎用性がなく、発注業務フローの効率化が求められていた。
- ◆地方整備局の立ち入り調査※時に、コンプライアンスに基づく業務運用を求められ、最終見積書と注文書の一体管理が必要になった。

■上申書の記載項目

- ◆Ci-NETの概要
- ◆背景、目的、目標
- ◆導入費用
- ◆導入効果

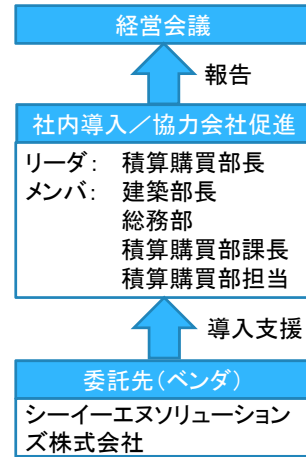
※下請け取引きの適正化に関する立入調査

7. 進め方(導入フェーズ) ①

■導入状況

	発注者として
対象期間	6ヶ月 (2013年3月～8月)
CI-NET接続会社数	38社
取引件数	11.5%
取引金額	29.4%

■実施体制



7. 進め方(導入フェーズ) ②

■導入スケジュール

項目	2012年				2013年								
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
1 導入検討	→												
2 新業務フロー設計				→									
3 1次運用準備													
①システム設計/導入													
②協力会社への案内送付													
③協力会社説明会開催													
④協力会社ツール準備													
4 1次運用													
①1次運用													
②業務フロー見直し													
③1次運用(改定)													
5 2次運用準備													
①協力会社への案内送付													
②協力会社説明会開催													
③協力会社ツール準備													
6 2次運用(継続中)													

※短期間で導入

7. 進め方(運用フェーズ)

■サポート体制(ヘルプデスクの設置有無)

- ◆発注者(社内):
 - 積算購買部が中心となり、リフォーム事業部が確認しながら業務運用を実施
 - サポートは、シーイーエヌソリューションズ株式会社が担当
- ◆受注者(協会社):
 - 導入ツールのヘルプデスクを利用

■教育・研修等

- ◆発注者(社内):
 - 操作説明会開催(業務フローに沿って操作説明実施)および逐次電話対応。
- ◆受注者(協会社):
 - 説明会を本社会議室で実施

	対象	参加企業数	うち、CI-NET導入済み
1次説明会	協会社会員	約70社	13社
2次説明会	主要取引先	約100社	39社

●内容(説明会プログラム)

- ① CI-NET運用開始について : 積算購買部長
- ② CI-NETの概要、導入手続き、業務処理留意点 : シーイーエヌソリューションズ株式会社

8. 導入・運用費用(計画値)

金額: 税抜

	費目	初年度	2年目	3年目	4年目以降	
導入費用	社内システム改修費	0円	0円	0円	0円	
	ASP登録料	50,000円	0円	0円	0円	
運用費用	企業コード取得	16,000円	0円	0円	以降、3年ごとに 20,000円	
	電子証明書取得	6,500円	0円	0円	以降、3年ごとに 6,500円	
	ASP	利用料(年額)	72,000円	132,000円	132,000円	132,000円
		保管料(年額)	10,000円	33,000円	46,000円	53,000円

9. 導入効果

■ 定量効果

- ◆ 当該企業が「発注者」として得た導入効果

効果	導入前	導入後	削減量
作業時間(人日/年間)※1日8時間換算			約33日分/年(約2割削減)
時間短縮(注文～注文請書受領)	平均3日	平均1日	平均2日/件
郵送料削減(25件/月×80円と仮定)			約24,000円/年

- ◆ 当該業者が「受注者」として得た導入効果

	削減量
注文請書の印紙税削減	約100,000円/年

■ 定性効果

- ◆ **事務処理作業の効率化** : 標準業務フローに沿った運用で、協力会社と条件合意のもと、契約業務を効率的かつ確実に実施することができる。
- ◆ **法令遵守** : CI-NETの利用により、協力会社とお互いの条件合意のもとで取引をすることができる。

10. 問題点、課題と今後の計画

